

高大接続探究学習ワークショップ

教育をUP DATE

～子どもの未来を拓く先生になるために～



高校生



大学生

2021.6.6 [日] 13:00～17:00

場 所 中村学園大学
4号館 4603教室

参加人数 最大32名
(要事前予約)

※定員以上の申し込みがあった場合は、事前予約締め切り後、抽選を行い、参加者を確定します。

対 象 「教育」に関心を持っている高校生

※普通の高校での課題探究学習で、「教育」「地域創生」「SDGs」「心理学」「学級経営」などのテーマに取り組んでいる方・若しくは関心がある方もぜひご参加ください。

内 容 本学の教員・学生が、皆さんの学びをフォローします。講義やグループワークを中心としたワークショップです。ワークショップでは、将来、教育現場で子どもたちの未来をつくる人になるための「学び方」を、高校生が大学生とともに学びます。

持参物 筆記用具

※詳細はホームページをご覧ください。



 中村学園大学



◀事前予約はこちらから
事前予約受付期間
5/1(土)10:00～
5/16(日)まで



教育をUPDATE

これから「教育」に携わる上で、「学び方を学ぶ」ことは、非常に重要になります。今回のワークショップでは、教科内容の学び方・教え方を取り扱うのではなく、教育心理学を基に、皆さんが今後、教育現場で子どもたちの未来をつくる人材になるための「学び方」を取り上げます。未来が予測困難な時代においても、皆さんの地域を担う人材を育てる・地域の子どもの未来をつくるのが教育の役割です。教育に携わりたい方・教育心理学に興味がある方の参加をお待ちしています。ワークショップで学ぶ知識・経験は、将来教育現場で「授業づくり」「個別指導」「学級の経営」にあたる際に重要なものとなります。

他校も含めた参加生徒さんと教育学部の学生との活動を通して、新たな知識・経験を得る場としてもらいたいと思います。



●高大接続探究学習ワークショップイメージ



高校生の皆さんが、大学の学びに触れることで、自身の興味関心と大学の学びとの「つながり」を感じていただくためのワークショップです。学びを深め、課題を発見し、将来の目標をより明確にイメージする機会になります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



※SDGsとは…?

2015年9月の国連サミットで採択された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な社会をつくるために、17の目標と169のターゲットがあり、発展途上国のみならず、先進国自身も取り組むもので、日本も取り組んでいます。

今回のワークショップで教えてくれるのは



教育学部 児童幼児教育学科
野上 俊一 准教授

Profile

鹿児島県生まれ。徳島大学総合科学部卒業。九州大学大学院人間環境学府単位取得後退学。博士(心理学)。専門は教育心理学。日本協同教育学会理事。授業では「心理学」、「教育心理学」、「教職実践演習」等を担当。

野上先生に聞く!教育にまつわるトリビア

Q. 子どもたちに教える際に、先生に求められる力は何ですか?

A. 先生に必要な力は、教科内容に基づいた授業や単元の組み立て方、学習指導要領や教科書の理解と活用、黒板やICT機器の使い方など、さまざまあります。しかし、一般的な授業での教え方があらゆる子どもにとって最適なわけではありません。特に初等中等教育では、児童生徒の発達や視点を考慮した授業をしなければ、授業についてこれなくなるでしょう。ここ数十年の研究や技術進歩によって教え方はいろいろな工夫ができるようになっていますが、まずは児童の心理を理解することが重要です。それが理解できると教え方が上手な先生になります。

中村学園大学が、皆さんの学びをフォローアップします。

大学生と高校生が、ともに学ぶ中で様々な課題を発見し、考察・発表することで、問題解決能力・自己表現力を育成する。自らが生活する地域の課題に興味・関心を持つことで、将来、地域に貢献できる人材を育成することを目的としたワークショップです。ぜひ、中村学園大学と一緒に、「教育」の知識をアップデートしませんか?高校生の皆さんのご参加お待ちしております。



前回実施のワークショップの様子を見たい方はこちら▶



新型コロナウイルス感染症の感染対策をいたうえで実施します。

